

次の二つの文章を読み、Aの内容を第一段落、Bの内容を第二段落到簡潔にまとめ、A・Bどちらかあるいは両方の考えに触れながら、「考えを深めるうえで大切なこと」について、具体的な例を示しながらあなたの考えを第三段落以降に書きなさい。ただし、全体を三段落または四段落とし、五〇〇字以内で述べなさい。

A

※¹ 為末 先生に話をうかがって、すごく面白いと思うのは、僕らが「知っている」とか「わかる」ということばを使った時、いったい、どの深さまでのことを指して、「知っている」と言えるのかということです。

選手たちに、よく、本を読むことをすすめるのですが、読んだあとにじつだったか聞くと、僕とは全然、解釈が違っていて、「そう理解するんだー」とびっくりすることがあります。

最近、言われはじめていることですが、本を読んで「わかる」ということの中に、実はけっこうな理解の差があるのではないかと、僕自身も感じています。

ですから、「わかる」と思っている自分は、本当にそれをわかっているのか、この「わかっている」という感覚は合っているのか。容易にわかったと思ってしまうけれど、わかっていることがたくさんあるし、何をもって、知識を得たと言えるのか。これは、深遠なテーマな気がします。

※² 今井 さすが為末さん、学習の本質のど真ん中を貫く鋭い問いだと思います。

達人になれる人というのは、自分が、何をわかっていて、何をわかっていないのかを明確に判断できるところが非常に大きいと、私は思っています。そこがまだ、いちばん、個人差があるところですよ。

(為末大 今井むつみ『ことは、身体、学び 「できるようになる」とはどういうことか』二〇一三年 扶桑社)

※¹ 為末 : 為末大。オリンピックに三大会連続で出場した元陸上競技選手。現在は執筆活動、身体にかかわるプロジェクトを行う。

※² 今井 : 今井むつみ。認知・言語発達心理学、言語心理学を専門とする研究者。